



くすの木

平成28年4月28日発行（第26号） 発行責任者：田邊 雅史 編集：広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

熊本地震にDMATを派遣しました。被災地の一日も早い復旧・復興を願っています。

《 新病院長のご挨拶 》

川崎市立川崎病院 病院長 なりまつ よしあき
成松 芳明

川崎市立川崎病院に2001年に奉職し、本年4月から病院長を拝命いたしました成松芳明です。

当院の前身は1904年12月に設立された伝染病組合病院でした。1945年6月に総合病院に切替わり現在の名称となるとともに、2001年に現病院が竣工し今日に至っています。

現在の診療科は29科、病床数は713床であり、川崎南部地域の基幹病院及び自治体病院として市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、安全で安心な質の高い医療サービスの充実を目指しています。

また、救命救急センター開設、新生児集中治療室（NICU）再開、周産期救急医療システム中核病院・地域周産期母子医療センターに認定、神奈川DMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関となるなど、基幹病院として更なる体制の充実を図っています。

さらに、高度急性期医療を提供する病院として原則紹介外来制とし、地域の病院や診療所の「かかりつけ医」の先生方と協働して診療する医療連携を進めてきた結果、本年4月から、地域医療支援病院の承認を受けることとなりました。地域全体の医療の質が高まり、市民サービスにつながるとともに、団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年を控えて、医療・介護・福祉をシームレスに提供するための、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。

あわせて、当院では、チーム医療も積極的に推進しており、医療安全管理や感染対策の充実にも努めているところです。さらに今年度は、がん診療の取組を加速させてまいります。当院職員と一丸となって、さらに質の高い医療の提供や、医療サービスの改善に取り組んでまいります。皆様のご指導とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



☆ トピックス ☆

川崎市立川崎病院における現在の取組、今後の取組などをご紹介します。

皆様のご理解をいただくとともにご参加をお待ちしております。

・ 地域医療支援病院としてこの4月スタート

350を超える連携登録医と連携しています！

当院は、原則紹介外来制とし、地域の病院や診療所の連携登録医（かかりつけ医）の先生方とその役割に応じて、患者の皆様をご紹介いただき又は当院から逆紹介をさせていただきながら協働して診療する医療連携を進めています。

皆さん、是非「かかりつけ医」をお持ちください！



連携登録医一覧（1階売店付近）

・ がん診療への取組推進

神奈川県のがん診療連携指定病院を目指します！

がん相談支援センターの設置や緩和ケア外来を開設します。
また、禁煙外来の開設も検討します。

さらに、喫煙による健康被害防止は医療機関としての使命と考え、7月1日から敷地内全面禁煙といたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・ 市民公開講座の開催

参加費無料！ 申込不要！ 定員先着120名さま！

・ 6月22日（水）14時から15時まで 7階講堂
テーマ 「こんなに変わった皮膚疾患の治療方法」
講師 皮膚科 宮川俊一副院長

・ 8月29日（月）14時から15時まで 7階講堂
テーマ 「母乳と育児」
講師 新生児内科 梶原久美子医長

なお、10月、12月、翌年2月にも開催する予定です。
詳細は、ホームページ等でご確認ください。

・ 熊本地震 DMAT等の派遣

4月14日に発生した熊本地震に職員を派遣しました。

4月16日から18日まで救急科医師1名が自衛隊機で現地に赴きました。

また、4月18日から21日まで、救急科医師、看護師、診療放射線技師のDMAT（災害派遣医療チーム）計5人を現地に派遣しました。

今後、DPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣も検討しています。



宮川副院長



梶原医長

